

## No.1 問題文

業務の効率化を目的として、紙の申請書を電子化し、承認フローをシステム上で行う取り組みを何というか。

### 選択肢

1. デジタルアーカイブ
2. ワークフローシステム
3. バックアップ

### 解答番号

2

### 解説 (150 字以内)

ワークフローシステムは、申請・承認・決裁などの業務手続きを電子化し、流れを自動化する仕組みである。業務の効率化や進捗管理の改善につながる。

---

## No.2 問題文

DX 推進において、単なる IT 化ではなく「変革」が求められる理由として最も適切なものはどれか。

### 選択肢

1. 最新の機器を導入することが目的だから
2. 業務や組織の在り方そのものを変える必要があるから
3. 紙の使用量を減らすため

### 解答番号

2

### 解説

DX はデジタル技術を活用して、業務プロセスや組織文化、ビジネスモデルを変革し、競争力を高めることが目的であり、単なる IT 導入ではない。

---

### No.3 問題文

社内外の情報を効率よく収集する際に、情報の信頼性を確認するために最も重要な点はどれか。

#### 選択肢

1. 情報量が多いこと
2. 発信元が明確であること
3. 更新日時が古いこと

#### 解答番号

2

#### 解説

信頼性の高い情報を得るには、誰が・どの組織が発信しているかを確認することが重要である。公的機関や公式サイトは信頼性が高い。

---

### No.4 問題文

生成 AI を業務で利用する際、人が必ず行うべき作業として最も適切なものはどれか。

#### 選択肢

1. 出力結果の確認と修正
2. AI への指示を省略する
3. すべて自動で公開する

#### 解答番号

1

#### 解説

生成 AI の出力は誤りや偏りを含む可能性があるため、人が内容を確認し、必要に応じて修正することが不可欠である。

---

## No.5 問題文

業務メール作成に生成 AI を使う際の適切な使い方として正しいものはどれか。

### 選択肢

1. 宛先や状況を具体的に指示する
2. 相手に確認せず送信する
3. 社外秘情報を入力する

### 解答番号

1

### 解説

生成 AI には目的・相手・条件を具体的に伝えることで、より適切な文章が得られる。機密情報の入力  
は避ける必要がある。

---

## No.6 問題文

社内で複数人が同時に文書を編集し、最新版を共有できる仕組みとして適切なものはどれか。

### 選択肢

1. ローカル保存
2. クラウドストレージ
3. USB メモリ

### 解答番号

2

### 解説

クラウドストレージを使えば、複数人が同じファイルを共有・編集でき、常に最新の状態を保つことができる。

---

## No.7 問題文

生成 AI に入力した情報が学習に使われないよう設定する仕組みを何というか。

### 選択肢

1. オプトアウト
2. フィルタリング
3. キャッシュ

### 解答番号

1

### 解説

オプトアウトとは、送信したデータを AI の学習に利用しないよう拒否する設定であり、機密情報保護の観点で重要である。

---

## No.8 問題文

業務改善のために現状の業務内容を洗い出し、問題点を整理する作業を何というか。

### 選択肢

1. 業務分析
2. 情報圧縮
3. データ暗号化

### 解答番号

1

### 解説

業務分析は、業務の流れや作業内容を把握し、無駄や改善点を明確にするための重要な工程である。

---

## No.9 問題文

生成 AI が事実と異なる内容をもっともらしく出力する現象を何というか。

### 選択肢

1. バイアス
2. ハルシネーション
3. ノイズ

### 解答番号

2

### 解説

ハルシネーションとは、生成 AI が実在しない情報や誤った内容を事実のように出力する現象を指す。

---

## No.10 問題文

DX 推進の一環として、データを経営判断に活用する考え方を何というか。

### 選択肢

1. データドリブン
2. ペーパーレス
3. アウトソーシング

### 解答番号

1

### 解説

データドリブンとは、経験や勘ではなく、客観的なデータに基づいて意思決定を行う考え方である。

---

### No.11 問題文

生成 AI を使って資料作成の時間を短縮する際の注意点として最も適切なものはどれか。

#### 選択肢

1. 内容の正確性を確認する
2. すべて AI 任せにする
3. 出力をそのまま提出する

#### 解答番号

1

#### 解説

生成 AI は補助ツールであり、最終的な内容確認や責任は利用者にあるため、必ずチェックが必要である。

---

### No.12 問題文

業務で扱うデータを一元的に管理することの主な効果はどれか。

#### 選択肢

1. 情報の重複や誤りを防ぐ
2. データ容量を減らす
3. 処理速度を下げる

#### 解答番号

1

#### 解説

データの一元管理により、情報の重複や更新漏れを防ぎ、正確で最新の情報を共有できる。

---

### No.13 問題文

生成 AI に指示を出す際の「プロンプト」を改善する方法として適切なものはどれか。

#### 選択肢

1. 指示を曖昧にする
2. 条件や目的を具体的に書く
3. できるだけ短くする

#### 解答番号

2

#### 解説

目的や条件、対象読者などを具体的に伝えることで、生成 AI の出力精度は向上する。

---

### No.14 問題文

社外に情報発信する際、生成 AI を使用した場合の望ましい対応はどれか。

#### 選択肢

1. AI 利用を明記する
2. 説明せずに公開する
3. 内容確認を省略する

#### 解答番号

1

#### 解説

透明性を確保するため、生成 AI を利用した場合はその旨を明記し、誤解を防ぐことが望ましい。

---

### No.15 問題文

業務効率化のために複数の作業を自動で連携させる仕組みを何というか。

選択肢

1. RPA
2. OCR
3. VPN

解答番号

1

解説

RPA は、定型的な業務作業をソフトウェアロボットが自動で実行する仕組みで、業務効率化に役立つ。

---

### No.16 問題文

生成 AI が得意とする作業として最も適切なものはどれか。

選択肢

1. 定型文書の下書き作成
2. 最終的な経営判断
3. 法的責任の判断

解答番号

1

解説

生成 AI は文章作成や要約などの補助作業が得意だが、最終判断や責任を伴う業務は人が行う必要がある。

---



### No.17 問題文

情報発信において、誤情報の拡散を防ぐために重要な行動はどれか。

#### 選択肢

1. すぐに共有する
2. 出典や事実確認を行う
3. 印象で判断する

#### 解答番号

2

#### 解説

情報発信前に出典確認や内容の正確性を確認することで、誤情報の拡散を防ぐことができる。

---

### No.18 問題文

生成 AI を利用する際、個人情報保護の観点から適切な対応はどれか。

#### 選択肢

1. 個人情報を入力しない
2. 暗号化せず入力する
3. 実名で試す

#### 解答番号

1

#### 解説

生成 AI には個人情報や機密情報を入力しないことが基本的な情報セキュリティ対策である。

---

### No.19 問題文

DX 人材に求められる能力として最も適切なものはどれか。

#### 選択肢

1. デジタル技術と業務理解の両立
2. プログラミングだけの知識
3. IT 機器の操作のみ

#### 解答番号

1

#### 解説

DX 人材には、デジタル技術だけでなく、業務内容や課題を理解し、改善につなげる力が求められる。

---

### No.20 問題文

生成 AI を業務で安全に活用するために、組織として必要な取り組みはどれか。

#### 選択肢

1. 利用ルールの策定
2. 利用者の自由判断
3. 全面禁止

#### 解答番号

1

#### 解説

生成 AI を安全に活用するためには、利用範囲や注意点を定めたルールやガイドラインの整備が不可欠である。